

# コア会議の実施報告（令和6年1月実施）

1. 前年度コア会議の振り返り
2. 江戸川区のピアサポート活動の紹介（動画視聴）
3. 文京区として具体的にどのようなピアサポート活動を進めていくか意見交換を行う

- 既に行われているピア活動も深化させ、意味づけをすることで普及啓発を促進することにもつながる
- 一概にピア活動と言っても、取り組みは様々で認識も異なる
- 文京区として、どのようなピア活動に取り組んでいるのか
- ピア活動の中でも、どこを強調した活動にしていきたいか

コア会議でピア活動について整理し、  
今後の文京区のピア活動を考える機会としたい

# 文京区のピアサポート活動促進のための取り組み (R4年度の意見)

## 【活動案】

- 支援者や当事者がピアサポート活動について学ぶ場を作る  
(→東京都が事業所向けに実施)  
文京区の事業所や当事者を対象とした研修会を企画する
- ピアサポート活動を行いたいと思った時の相談先
- ピアサポート活動に対する潜在的なニーズを把握する  
(研修会の際にアンケートを実施するなど)  
→ピアサポートに意欲がある人等をすくい上げる

## 【結論】

- **現在行っているピア活動を強化する**
- **新たなピア活動を創出するための豆まきをする**
- **それぞれの立場でできることを考える**

# コア会議の実施報告（令和4年8月実施）

## 【コア会議で出た意見】

- 支援者がピアサポートについて学ぶところからスタートしたい

→ R5.12月実務者連絡会 実施

テーマ「今、知っておきたいピアサポーターのこと  
～ピアは無限大 $\infty$ ～」

## 江戸川区や当法人におけるピアサポートへの取り組み

- \* 当法人において平成27年度より地域でのピア活動の新しいシステムとして、「**たすき掛けプロジェクト**」をスタート。具体的には近隣の3法人が集まり、3つのプログラムを実施。
  - ①**参加**：月に1度の定例会を各法人持ち回りで実施。誰も参加可。
  - ②**実習**：定例会に何度か参加され、ピアサポーターに興味を持った利用者は自分の所属している法人以外で実習を体験。
  - ③**雇用**：無償、有償ボランティアという形を経て雇用へ。
  
- \* 江戸川区において令和2年度**江戸川区精神障害者ピアサポーター育成事業**が創設され、当法人が受託。  
支援内容：ピアサポーターの育成、管理。また活躍の場の開拓等  
→令和2年度は6名が修了し、2名が正規雇用。  
令和3年度は現在13名の受講中。
  
- \* 江戸川区における精神障害にも対応した地域包括ケアシステムにおいて令和3年度よりワーキンググループ「**ピアサポート**」が創設。

## ピアサポートの3層

### 第3層

ピアサポートとして収入を得る、生業として働く活動。  
研修を受講することで、ピア加算の対象者にも。  
注) ピアサポートという専門職です。

※1層、2層を経ず、いきなり3層で活躍できるという話にはなりません。

### 第2層

自分のリカバリーストーリーの語り手として、  
病やおかれている境遇、おもいを発信することで、  
当事者の道しるべになるとともに、  
情報発信、啓発につながる活動

### 第1層

同じ病や境遇の人たちと、わかちあう経験。  
対等な仲間と、かかわり、支えあう経験。  
自分が病気になって辛かった時に、  
どんな支えがあったか、仲間を支えたか。  
その体験がピア活動の原点

- ①江戸川区の動画視聴の感想
- ②今までの文京区のピアサポーターの取り組みについて
- ③文京区のピアサポート活動の具体的な取り組み案

# コア会議の実施報告（令和4年8月実施）

## 【今までの文京区のピアサポーターの取り組みについて】

### ①第1層のピア活動

- 病院で入院患者同士の交流やデイケアのグループワーク。
- 家族会で当事者の話を聞く会。
- なでしこ元町のイベント。趣味を通じた交流で、社会とのつながりを持つことができた。ボランティア活動に意欲的になった。
- 事業所と病院の音楽を通じた交流。
- R4年度に4拠点、各拠点でサロン等の開催。活動のしやすい居場所。
- 事業所で地元の商店街に加盟してイベントに参加。他者に自分の障害の話をする利用者もあり、自己開示といった2層の活動につながる経験。

# コア会議の実施報告（令和4年8月実施）

## 【今までの文京区のピアサポーターの取り組みについて】

### ② 第2層のピア活動

- 事業所でリカバリーストーリーの発表。
- 基幹で障害種別ごとの本人・家族のピアサポートグループの意見交換会開催。事業所に出向き出前講座実施。
- 事業所利用者が病院に出向き、長期入院者にリカバリーストーリーを話す活動。週1回2か月の期間のプログラムで謝礼あり。3層にもつながる。

# 課題

- ピアスタッフや雇用主への経済的支援
- 病院訪問者のマッチングが難しい
- 語り合いの場、発表の場を他の事業所にも広げていけると良い
- 研修・座学のかしこまった形式ではなく、趣味やお楽しみ会を組み合わせ  
せてピアがつながり検討できる場

# 次年度の方向性

## 【ピア活動プロジェクトチームの発足を検討】

- 基幹にてアンケートをとり活躍できる場を全体的に考える。
- 事業所や当事者、家族に他区のピア活動を知る機会を設ける。